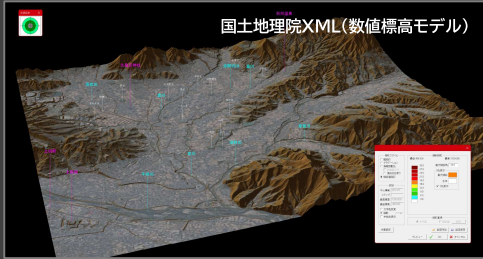
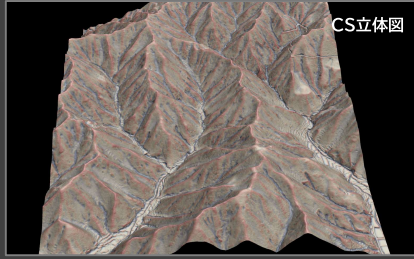


地形を読み解く。



国土地理院XML(数値標高モデル)

国土地理院数値地図提供



CS立体図

長野県林業総合センター提供

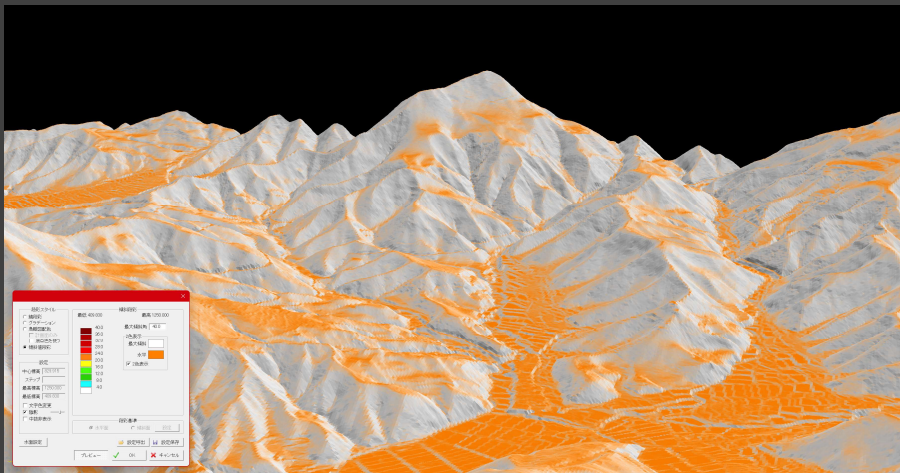


国土地理院(地滑り地形分布図)

日本全国版(防災科学技術研究所)提供

多彩な外部情報の読込機能

国土地理院発行の数値地図データをはじめ、G空間情報センターやCS立体図等の公開データから3次元モデルを作成し、そこに様々なデータを合成することで、地形を可視化したり、防災対策の検討に使えます。

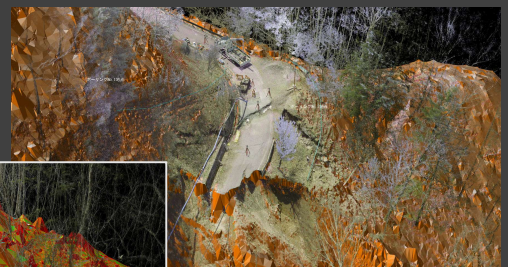


急傾斜地段彩機能

「急傾斜地」とは、傾斜角度が30度以上ある土地を示します。(急傾斜地の崩壊による災害防止に関する法律:国土交通省資料抜粋)より傾斜角度を数値入力するだけで指定したエリア内を1クリックでヒートマップ状に自動表示させることができます。

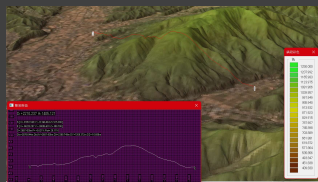
□ 斜度30度以上 ■ 斜度30度以下

災害時のモノレール設置ルート検索



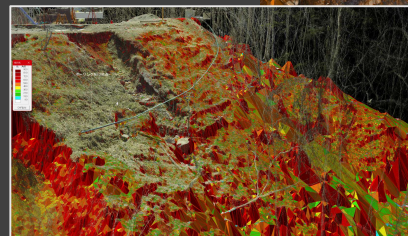
流水経路解析

指定した位置から水を流した時にどのような経路をたどって流れるかを表示する機能です。水を流し始める地点を選択するだけの簡単な操作で終わります。



簡易断面表示

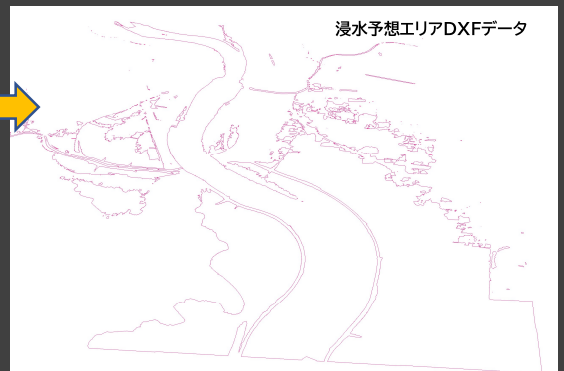
任意の2点を入力するだけで断面を抽出します。断面抽出は、三角網でも点群データのみでも可能です。凹凸のある形状でも面に沿った直線距離の計算にも対応。



傾斜段彩機能を使って、モノレール設置の際の斜度40度以下のルートの検討が行えます。緊急対応時の時間短縮に貢献します。DXF出力も可能です。



浸水エリア図出力



浸水予想エリアDXFデータ

国土地理院が公開している、実際に起きた浸水エリア図を3次元モデルに合成することで、これからの防災計画の策定や避難ルートの把握などに役立てることができます。下右図はLandFormsで解析した浸水エリアを表示。ほぼ同じような結果が得られています。

また、DXFの出力や浸水エリアの面積計算が短時間でできます。



国土地理院で公開している浸水予想範囲



LandFormsで解析した浸水範囲